沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	日本事情II		
科目基礎情報							
科目番号	4028	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修科目: 1				
開設学科	機械システム工学科	対象学年	4				
開設期	前期	週時間数	0				
教科書/教材	毎時間、作成したプリントによって講義を進めていきたい。						
担当教員	小番 あゆみ						
到達目標							
本校で学ぶ留学生の出身国は数カ国に及ぶ。日本の政治、経済、文化、歴史や地理等を学び、また互いの国の美態をディスカッションや意見の発表等を行うことにより、母国を振り返る機会にすることができたら母国の発展に些かなりとも貢献することができるのではないかとことを目標にしたい。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限必要な到達レベル (可)				
授業内容は地理・歴史・政治・経済・文化・人口等である。母国の状況を発表させながら理解できるよう努力する。	90%。講義の各分野を極めてよく理解し、母国についても的確に意見を発表している。	75%。講義の各分野をよく理解し、母国についてもよく意見を発表できる。	60%。講義の各分野を理解し、母国についてもある程度の意見を発表できる。				
講義中の態度や日本語による意見の発表を重視する。	各分野の重要な課題を見だし、その解決に必要な意見を発表することができること。	各分野の基本的な知識を深めていて、ディスカッションも「意欲的に発表する。	基本的な漢字や用語を理解でき、意欲的な学習意欲が見られる。				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本の農業、沖縄の農業、産業等、自然、社会保障、文化						
授業の進め方・方法	殆どの留学生は日本は初めてと思われる。このため、「日本事情」の講義は多岐にわたって日本の事情を理解する必要があると考えられるので、各分野とも「概観」を念頭に講義を勧めることにしたい。						
注意点	ディスカッションや発表の機会をつくり、母国の諸制度を振り返るよう促したい。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
前期	1stQ	1週	日本の農業①	内容・レポート発表等			
		2週	日本の農業②	日本の地理的位置			
		3週	日本の農業③	都道府県・都市			
		4週	沖縄の歴史①	日本の自然			
		5週	沖縄の歴史②	明治憲法・日本国憲法			
		6週	戦後の沖縄	国民主権			
		7週	沖縄の産業	平和主義			
		8週	沖縄問題	基本的人権			
	2ndQ	9週	日本の自然災害①	基本的人権			
		10週	日本の自然災害②	三権分立			
		11週	世界の環境問題	日本文化の特徴			
		12週	日本の環境問題	日本文化の特徴			
		13週	日本の文化・・宗教	日本人の宗教観			
		14週	日本の文化	実習			
		15週	前期のまとめ	発表			
		16週	期末試験				
評価割合							
	試験	小テスト	レポート	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	20	20	0	0	10	100
基礎的能力	20	10	10	0	0	0	40
応用力	10	5	5	0	0	0	20
社会性	0	0	0	0	0	10	10
主体的・継続的学修意欲	20	5	5	0	0	0	30